

## 第6回コミュニティ基本構想審議会議事録

平成18年4月26日

第2委員会室

太田会長 《あいさつ》

事務局 前回審議会時の訂正箇所確認依頼。正誤表の目次第5回を第4回に訂正。

太田会長 議事録の間違い等があれば事務局に申し出ていただきたい。今後は時間を有効に使用したいと考えます。

事務局 今回の議事録について、審議委員の方々からは事前の議事録訂正は出ておりません。

水島委員 事前訂正を依頼したはずですが、「宗像フォーラム」は「むなかた市民フォーラム」ではないでしょうか。

事務局 すみません。2ページ中段 太田会長発言のところ、「宗像フォーラム」は「むなかた市民フォーラム」に変更し、「宗像」が漢字かひらがなかなについては正式名称を事務局で確認します。

太田会長 それでは、構想に入りたいと思います。事務局からお願いします。

事務局 前回1ページから審議し、意見を頂きましたが、訂正したところを中心として説明に入りたい。  
1ページ最後部分、コミュニティの定義づけについて、会長からご意見がありましたが、水島委員からも案が事前に届いております。それを基に作成をしておりますが、「市民等」の表記については「地域住民」という一般的な表記にしました。そこで、「地域住民が共同体意識を持って、主体的に形成された地域社会」と定義づけ、また、会長と水島委員のご意見から「コミュニティは、それぞれの地域の特性を生かしながら、様々な地域社会の課題に取り組み」を加えています。これについてご意見をお願いします。

太田会長 ご意見がなければ次に参ります。

事務局 それでは、1ページ注釈部分も「市民等」を「地域住民」に修正します。  
続きまして2ページ目に入ります。総合計画の中身についての議論がありましたが、総合計画については変更するのは難しいと考え、分かりやすくしております。まず、図について第1次総合計画のイメージ図と表記し、総合計画の説明もあまり詳しく載せず、総合計画とはどんなものかという注釈を掲載しております。

太田会長 2ページ目ご意見がなければ次に参ります。続いて3ページ目お願いします。

事務局 3ページ目は表記を統一しております。「市」を「行政」に、「市民」を「地域住民」に統一しております。3の目的の下に地域分権の説明を加えさせていただいており、4の目標年次の表について、細かく1年ごとに表記していましたが、第1次基本構想の表にあわせるかたちで表記しております。

ここで、地域分権の説明文を確認しておきます。地域分権：「国から地方自治体への権限移譲を地域まで貫き、地方自治体から地域住民自治組織にまちづくりに関する行財政権限を移譲すること」としております。

太田会長 地域分権の説明文、3ページ目ご意見がなければ次に参ります。続いて4ページ目お願いします。

事務局 前回審議していただきましたのが3ページ目までです。これからは新たな審議ということになります。まず、冒頭の大項目の数字部分を変更。冷戦構造の「崩壊」を「終結」にしています。

太田会長 4ページ目ご意見がなければ次に参ります。

事務局 4ページ目下の部分、「地方分権と地域分権」を「地方分権とコミュニティ」に変更。地方分権の説明です。で、「地域」という表記を「地方」という表記に変更しています。5ページ目に入りまして、以前、審議会でご意見いただきました内容を今回反映しております。

①の「スケールメリット」という表現が分かりにくいということでしたので、「地理的な広がり」とし、③前は、「民生委員、子ども会など団体グループがさまざまな活動を行っている」という表記でしたが、この部分は全国的な表記ということで、「福祉ボランティアや民生委員、子ども会など、団体や専門性を持ったグループが様々な活動を行っている」に変更しています。

④「各種団体やグループが一体となって子育てに取り組むことができる」に変更しています。1つの目的だけの協議、その目的だけの団体であったが、地域に入ることによって、他の団体もその課題について議論でき、取り組むことができる、という意味合いです。

⑤「ちょうどいい程度」についてですが、はっきりしないという意見ですので「子どもを介して連携できる範囲」であるという表記に変更しております。

太田会長 家に帰られ、熟読していただき、いい文言あれば事務局にお知らせください。ここはよろしいですか？

委員 同意

事務局 6ページ目「コミュニティ小委員会」を「コミュニティ問題小委員会」と訂正しています。その後段については、前回、提示の内容です。文言についてわかりづらいところは注釈をということでしたので、最後に「地区まちづくり計画」の説明を追加しています。

地区まちづくり計画の注釈としましては、「自分たちの生活圏である身近な地域の課題を解決し、地域住民によるきめ細やかなまちづくりの推進と地域の活性化のため、地域住民が主体となって策定する計画書」としました。現在、作成済みの地区としては、日の里・自由ヶ丘・南郷地区です。この計画は2年かけて作成しています。17年度は原案を吉武地区・赤間西地区が策定。本年からの取り組みは赤間地区・東郷地区というように順次作成に取り組んでおります。

太田会長 6ページ目の2 コミュニティに関する対策要綱で「自治省は、このコミュニティ問題小委員会報告を受け、その具体的な施策として「コミュニティに関する対策要綱」を発表しました。そしてモデル・コミュニティの形成及びコミュニティに関する調査・研究に取り組み、翌年、都道府県に通知しました」とありますが、何をどのようにということが良く分からないと思いますので事務局にもう少し分かりやすくしてほしいのですが。

事務局 はい、当時の文献を見て記入していましたが、確かに何をということが分かりにくいと思いますので、整理したい。「自治省は、このコミュニティ問題小委員会報告を受け」、この報告部分は前述していますが、「その具体的な施策としてコミュニティに関する対策要綱を都道府県に通知した」という内容です。このコミュニティ問題小委員会報告を受け、昭和45年にモデル・コミュニティの形成及びコミュニティに関する調査・研究に取り組み、翌年、その具体的な施策として、コミュニティ（近隣社会）に関する対策要綱を都道府県に通知しました」と変更したいと思います。

太田会長 これは、事務局側から新しい訂正されたものが差し替えられますか。

事務局 はい。

太田会長 ここの部分でご意見ありますでしょうか？ご意見がなければ次に参ります。

事務局 8ページに参ります。旧宗像市を本市に統一しております。  
ここは、コミュニティの変化について記述していますが、以前確認させていただきましたように、旧宗像市に限っての表記としています。

太田会長 提案ですが、2 新たなコミュニティの部分で「こういった状況の中、市もコミュニティ対策研究報告書や第3次（平成3年～平成12年）・第4次（平成13年～）総合計画で新たなコミュニティの重要性を認識していましたが、特段の具体策をとるまでには至りませんでした」の部分ですが、何もしていなかったという表現ですので、削除してはと考えますがいかがでしょうか？  
認識はしていたが、何もしていないという表現を構想に入れるべきでしょうか？

平田委員 市の率直な反省部分でないですか？

谷山委員 新しいコミュニティという経過ためには、必要ではないか。文言を修正してはいかがでしょうか。「新しいコミュニティを認識しつつ、今日に至っております」とか、「新しいコミュニティの発足となりました」などと置き換え、「特段の具体策をとるまでには至りませんでした」の部分を削除してみてもいかがでしょうか。経過の歴史は書いておく必要があるのではと考えます。

事務局 8ページ目宗像市のコミュニティの変化を記述している。次の9ページからは施策を記入しています。「新たなコミュニティから至りませんでした」までは削除し、次の9ページに入れ、会長ご指摘のとおり、この部分は削除としたい。

太田会長 そういうことでいけば、この2の新たなコミュニティの項目は要らないのでは、前項の1 コミュニティの変化に付けていいのではないかと考えます。

谷山委員 8ページ2の新たなコミュニティの上から4行目を削除し、前項に付けますと、「過渡期にあったと言えます」の後に「本市の新たなコミュニティの芽は発生しつつありました」がきますがいいですか？

坂本副会長 特段の標題がなくとも良いのではと考え、9ページにまとめたほうがすっきりするのではないかと。

谷山委員 1項目目と付けることによって、新たなコミュニティということが2回表記されるわけで、まとめたほうがいいのではないかと考えます。

事務局 新たなコミュニティというのが、2回の表記となるので事務局で検討し、次回提示します。

谷山委員 はい、お願いします。

太田会長 8ページは事務局で訂正し、次回に皆様に提示する。よろしいでしょうか。

委員 同意

事務局 8ページ後段、「日の里地区町内会協議会」を加えておりますが表記に間違いはないでしょうか。

柳瀬委員 同意

事務局 9ページの「少子・高齢者化」は「少子・高齢化」に「住民ニーズが増加」は「住民ニーズが多様化」にする方が適当と考えますので、訂正いただきたい。

事務局 コミュニティづくりの背景について意見いただけたら、と思います。

太田会長 9ページ2のコミュニティづくりの経緯が次のページに記載されていますが、3の(旧)コミュニティ基本構想を2の部分に上げた方がわかりやすいのではないかと意見があるがどうでしょうか。コミュニティづくりの経緯は、10ページの年表に移したほうがいいのではないかと考えますがいかがでしょうか？

事務局 確認します。9ページ2のコミュニティづくりの経緯を10ページの昭和52年の年表の上に移す。3の(旧)コミュニティ基本構想を2とし、3は削除し継続するということですか？

谷山委員 年表作成はいいが、基本構想は、年表プラス構想の理念なので、年表とともに文章でうえに残すほうがいい。

事務局 今の話は理念をどこにいれることでしょうか？

谷山委員 年表と精神部分は省かない方がいいと考えます。

事務局 谷山委員に確認ですが、文章までは削除しません。9ページ2のコミュニティづくりの経緯を10ページの昭和52年の年表の上につすだけで、3の(旧)コミュニティ基本構想を2とし、内容は変えず残すということですが。

谷山委員 それで、よろしくお願いします。

事務局 事務局として提示した後で申し訳ないのですが、1のコミュニティづくりの背景の最後「こうした背景をもとにして、コミュニティ基本構想を策定する必要が生じてきました」について、この段階ではコミュニティに関する推進計画の指標みたいなものを策定する必要が生じてきたという内容の方が

適切と考える。また、「こうした背景をもとにして」の後に「地域住民が望むまちづくりの方向性を明らかにした」を入れたい。

谷山委員 事務局に質問ですが、今の文書の上の方は、の文章はどうなりますか？

事務局 この部分は特段ご指摘ありませんでしたので、このままで行きたいのですが。

谷山委員 前段で、「地域の人々と行政がすることで、住民が望むまちづくりが」と同じ文章が出てきますが、条例等の作成の場合同じ文書を使わない事が原則と考えます。ここの辺りのまとめを事務局でお願いしたい。

事務局 事務局としては、より住民の方にアピールしたいという思いで入れている。この委員会の中でつながりの部分を含め、検討させていただきたい。前段とダブルということでありましたら、変更をします。

北崎委員 「新しい価値の創造に向けて協同（働）すること」について、以前に使用していたという意図で記載されているか？

事務局 当時は、ともに「働く」という言葉が一般的でないことから、「協同」と使用していましたが、現在の協働と違い混乱するということでありましたら、変更させていただきます。

北崎委員 その当時の思いと現在の思いが同じであれば、「協働」でいいのではと考えます。

事務局 その当時と現在の思いは同一と考えております。

北崎委員 それでは統一をしていただきたい。

板矢委員 9ページのコミュニティづくりの背景ですが、「その広域的コミュニティを構築する際に、その活動拠点としてのコミュニティ・センターの整備も検討することになりました。ますます需要の増加が予想される福祉、健康づくり、生涯学習の拠点としての重要性が増してきたからです」とありますが、コミュニティ・センターの整備も検討する、なぜ検討するのか、ということですが、私の考えですが、「その広域的コミュニティを構築する際に、今後、ますます需要の増加が予想される福祉、健康づくり、生涯学習の活動拠点としてのコミュニティ・センターの整備も検討することになりました。」とまとめ、分かりやすく記載したほうが良いと考えますが、いかがでしょうか？

谷山委員 文章としては今の文章がより良いと考えます。

事務局 内容的なものは代わっていないので、板矢委員の意見でよろしければ、ここで決めていただきたい。

谷山委員 コミュニティ・センターの整備のところ、「重要性が認識され、その整備も・・・」ということを入れたほうがさらにいいのではと考えます。

中村委員 文言以前の問題ではないのか？なぜコミュニティを作ったのか、その背景を述べ、されたことを素直に述べればいいのではないかと考えます。

事務局 8ページにコミュニティの変化を持ってきて、9ページにその背景、その後に基本構想10ページには経緯と話を進めています。

谷山委員 基本構想になりますので、外部の人の目にも触れてきますので、こういうふうに変化していったという経緯を確実なものを社会に出すため、文書を練り上げていく必要があると考えます。

大森委員 板矢委員の意見で賛成です。あまり難しくしてもとを考えます。

太田会長 それでは、この部分は事務局に任せ、練り上げてほしいと考えます。

太田会長 「コミュニティづくりの経緯で、昭和50年代からコミュニティ振興対策が」とあるが法律かなにかできたのか？

事務局 昭和50年に市の規定として、コミュニティ振興対策推進規程が制定された。これをもとにコミュニティづくりに取り組んでいくわけですが、施策として取り組んでいくよりも「調査勉強会が中心であった」の文言等を整理して提示をしていきたい。

事務局 8ページ新たなコミュニティなどはずした事などから、ここの旧コミュニティ基本構想は若干訂正したいと考えますので、ここで休憩をしていただき、休憩後に提示したいと考えますがいかがでしょうか。

#### 《 休 憩 》

太田会長 それでははじめます。事務局お願いします。

事務局 本市では、昭和50年代からとなっておりますが、「本市では昭和50年にコミュニティ振興対策推進規程を制定し、コミュニティづくりに取り組んできましたが、調査研究を中心としたものでした」に代えます。

その後の文言についての中で、「ワーキング会議の設置」についての記述を整理し、ワーキング会議は注釈で抜き出して述べていきたい。

水島委員 年表と一致しないがどうでしょうか？

事務局 すみません「昭和50年」は「昭和56年」の間違いです。規定の「てい」は「程」です。

水島委員 コミュニティ・センターの設立を入れたほうがいいのではと考えます。

事務局 文書内容からしますとセンター整備の年次も入れていきたい。次回までご指摘の点があれば指摘いただきたい。事務局も区長制度の廃止など重要な部分は入れていきたい。

平田委員 年表ですが、経過を見るときに西暦を入れたほうが分かりやすい。年の後に西暦を入れていただきたい。そのほうが分かりやすい。

事務局 全てに表記したほうがいいですか？

平田委員 全てに表記したほうが分かりやすいと思う。

事務局 全てに併記し入れます。見やすさを次回確認していただきたい。

太田会長 それでは、次に参ります。

事務局 はい、それでは12ページにいきます。旧宗像を本市に変更、基本構想の後に基本計画の文言を挿入。コミュニティの将来像については、新たに作成している。全文読み上げ紹介させていただく。(前文読み上げ説明)

太田会長 将来像に関して、放送大学のコミュニティビデオを皆さんで見てください、勉強をし、これに加えるなど考えたい。文書については、特段の意見がなければこれでいきたい。ここは、一番重要な部分でありますので今後も意見をいただきたい。

事務局 委員の交代について前回、述べておりましたが、事務局まで連絡していただきたい。特に協議会に関しては役員等の変更があると思いますので、5月の連休明けまでに申し出ていただきたい。途中交代は、本人申し出で受け付けます。

太田会長 次回は午後に開催し、ビデオを見て勉強会としたいがいかか？

《委員 同意》

次回開催 5月31日(水) 14:00～